

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公開番号】特開2006-115925(P2006-115925A)
 【公開日】平成18年5月11日(2006.5.11)
 【年通号数】公開・登録公報2006-018
 【出願番号】特願2004-304401(P2004-304401)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 3/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月16日(2007.10.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検者の識別子を含む撮影予定者リストを登録する登録手段と、
 被検者の識別子を入力する入力手段と、
 該入力手段によって入力された被検者の眼底を撮影する撮影手段と、
 該撮影手段により撮影された被検者の識別子を記憶する記憶手段と、
 前記撮影手段による撮影の終了に応じて、前記記憶手段によって記録された被検者の識別子と前記登録手段によって登録された撮影予定者リストに含まれる被検者の識別子とを比較する比較手段と、
 該比較手段の結果により警告表示を行う警告表示手段とを有することを特徴とする眼科撮影装置。

【請求項2】

前記比較手段は、撮影漏れ判定を行い、撮影漏れがあると判定された場合に撮影漏れリスト記憶手段にデータを入力することを特徴とする請求項1に記載の眼科撮影装置。

【請求項3】

前記警告表示手段は前記撮影漏れリスト記憶部に基いて警告表示を行うことを特徴とする請求項2に記載の眼科撮影装置。

【請求項4】

被検者の識別子を含む撮影予定者リストを登録する登録ステップと、
 被検者の識別子を入力する入力ステップと、
 該入力ステップにおいて入力された被検者の眼底を撮影する撮影ステップと、
 該撮影ステップにおいて撮影された被検者の識別子を記憶する記憶ステップと

該撮影ステップにおける撮影の終了に応じて、前記記憶ステップにおいて記録された被検者の識別子と前記登録ステップにおいて登録された撮影予定者リストに含まれる被検者の識別子とを比較する比較ステップと、

該比較ステップの結果により警告表示を行う警告表示ステップとを有することを特徴とする眼科撮影装置の警告方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】眼科撮影装置及び該装置の警告方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、集団健診や眼科医院等で使用される眼底カメラ等の眼科撮影装置及び該装置の警告方法に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の目的は、上述の問題点を解消し、集団健診における眼底検査において、撮影漏れを健診終了時に直ちに知ることができる眼科撮影装置及び該装置の警告方法を提供することにある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するための本発明に係る眼科撮影装置の技術的特徴は、被検者の識別子を含む撮影予定者リストを登録する登録手段と、被検者の識別子を入力する入力手段と、該入力手段によって入力された被検者の眼底を撮影する撮影手段と、該撮影手段により撮影された被検眼の被検者の識別子を記憶する記憶手段と、前記撮影手段による撮影の終了に応じて、前記記憶手段によって記録された被検者の識別子と前記登録手段によって登録された撮影予定者リストに含まれる被検者の識別子とを比較する比較手段と、該比較手段の結果により警告表示を行う警告表示手段とを有することにある。

本発明に係る眼科撮影装置の警告方法の技術的特徴は、被検者の識別子を含む撮影予定者リストを登録する登録ステップと、被検者の識別子を入力する入力ステップと、該入力ステップにおいて入力された被検者の眼底を撮影する撮影ステップと、該撮影ステップにおいて撮影された被検眼の被検者の識別子を記憶する記憶ステップと、該撮影ステップにおける撮影の終了に応じて、前記記憶ステップにおいて記録された被検者の識別子と前記登録ステップにおいて登録された撮影予定者リストに含まれる被検者の識別子とを比較する比較ステップと、該比較ステップの結果により警告表示を行う警告表示ステップとを有することにある。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る眼科撮影装置及び該装置の警告方法によれば、健診終了時に撮影漏れを検知し、警告を行うように構成したので、集団健診等の多くの被検者に対し撮影を行わな

ればならない場合において、簡単にかつ正確に撮影漏れを防ぐことができるばかりでなく、読影医への画像整理時間を大幅に短縮できる効果がある。